

北本市立地適正化計画 オープンハウス実施結果

1. 開催目的

立地適正化計画の策定にあたって、計画の概要や市の現況、立地適正化計画を策定する理由について市民に周知を行うとともに、計画検討にあたり参考となるご意見をいただくことを目的とする。

2. 開催結果

日時：令和7年6月7日（土） 10:00～14:00
開催場所：北本市役所 芝生広場（&green market）
来場者数：99名（アンケートの回答数を基に算出）

3. 開催概要

- ・立地適正化計画の策定に向けて市民に周知を行うため、市の現況や今後のまちづくり方針などをまとめたパネルを展示し、スタッフが来場者に向けて説明を行った。
- ・市民からの意見収集を目的としたアンケートを実施し、アンケートパネルのあてはまる項目にシール（2枚）を貼る形式で行った。

4. パネルの内容

看板

**北本市立地適正化計画策定に向けた
オープンハウス開催中！**

北本市都市計画課

アンケートにご回答いただいた方には粗品をプレゼント！
※数に限りがございますので、配布終了の際はご容赦ください

パネル1（現況①）

北本市立地適正化計画を策定します！

北本市の都市の現状や今後のまちづくりのあり方に関する
パネル展示を実施しています。
ぜひご覧いただき、みなさまのご意見をお聞かせください！

■北本市の現況と課題

◆今後の人口増減は、ほとんどの地域で減少の見込みとなっており、特に古い特で囲まれた市街化区域内で人口減少が大きくなっています。

「令和2年～令和32年の人口増減数」

今後起こりうること…

人口の減少により空き家の増加や地域コミュニティの希薄化が見込まれます
⇒将来にわたって、人口密度を維持していく必要があります。

◆北本駅や北本市役所周辺に都市機能施設が集積しており、いろいろな施設を利用できるようになっています。

「生活に必要な施設の集積」

今後起こりうること…

人口の減少により商業や医療等の生活に必要な施設の集積による生活利便性の低下が見込まれます
⇒生活に必要な施設の利便性を保つ必要があります。

パネル2（現況②）

公共交通

◆市内には鉄道と民間の路線バスが運行しており、路線バスの北本駅と北本団地、北里大学メディカルセンターを結ぶ路線では1日30本以上の高頻度な運行が行われています。

「公共交通ネットワークとバスの運行本数」

今後起こりうること…

人口の減少による利用者の減少によりバス路線の廃止や減便等の公共交通の利便性低下
⇒公共交通を維持していくための取組みが求められています

◆市内の東部と西部に、水害・土砂災害のおそれがある地域が存在しています。
◆南部の北本団地周辺に浸水のおそれがある地域が存在しています。

「水害・土砂災害が予測される区域」

今後起こりうること…

水害・土砂災害・地震などの自然災害による被害が拡大
⇒災害に強いまちづくりを実現する必要があります。

様々な課題に対処し、持続可能なまちを実現するために
立地適正化計画を策定します！

パネル3（立適とは）

■立地適正化計画とは

居住を誘導する区域や医療・福祉・商業等の生活に必要な施設を誘導することによって、将来にわたって持続可能な都市経営を目指すための計画です。

■主に定める事項

居住誘導区域

◆人口密度を維持することにより生活サービスやコミュニティが盛んになるため、居住を誘導する区域です。

都市機能誘導区域

◆都市機能を拠点に誘導・集約することにより、生活サービスの効率的な提供を図る区域です。

誘導施設

◆都市機能誘導区域ごとに必要な都市機能を検討し、立地を誘導する施設を設定します。

市街化区域

すでに市街地を形成している区域（既成市街地）と、概ね10年以内に集中的かつ計画的に市街化を図るべき区域です。（都市計画法第7条）

市街化調整区域

市街化を抑制すべき区域です（都市計画法第7条）。開発行為や建築行為は厳しく規制されます。

立地適正化計画区域（＝都市計画区域）

■策定の目的

◆居住や都市の生活を支える都市機能施設の誘導
◆都市機能施設や公共交通が集積している利便性が高い地域への居住の誘導
◆都市計画と公共交通の一体化によるコンパクトなネットワークの都市構造の形成
◆頻発・激化する自然災害に対応する都市全体での防災・減災施策の設定

これらの取組みを行い、持続可能なまちの実現を目指します！

パネル4（方針）

■目指すべき方針(案)

「利便性の高い都市形成」と「公共交通ネットワークの連携」を目指し、将来にわたり持続可能なまちを実現するための「まちづくりの方針」を定め、「居住誘導」、「都市機能誘導」、「公共交通」、「防災」の4つの視点で誘導方針を設定します。

「まちづくりの方針」

緑にかこまれた健康な文化都市
～利便性の高い都市形成と公共交通ネットワークの連携による暮らしやすいまち 北本～

「誘導方針」

「みどり」を生かしたやとりとるおいのある住環境の形成

◆都市機能の集積が図られ、交通利便性の高い居住環境が整備されているエリアに居住誘導
◆緑と開けたやとりとるおいのある住環境の形成
◆市街化区域内に点在している空き家や低利用地を活用した居住誘導

都市機能誘導

都市ストックを活用した魅力的な空間の形成

◆生活利便性の高いエリアでは、都市機能を維持
◆適切な誘導を行い、市の中心地的な空間の形成
◆低利用地や公共施設の再編によってできる緑地を活用した都市機能の補完や充実

公共交通

誰もが拠点に移動できる公共交通網の形成

◆市内の主要な移動手段である路線バスの維持
◆デマンドバスの利便性の向上
◆医療・福祉・商業などの生活に関連する施設と、住宅地の連携を強化し、コンパクトプラス・ネットワークのまちの形成

防災

日常的な空間の中にゾーン・ハート対策を講じることで、災害に強いまちの形成

◆災害発生時の高いエリアへの避難誘導
◆市街化区域内の人口が密集している地域では、災害リスクに応じたソフト・ハード対策を行い、安心して暮らすことができるまちの形成

パネル5（アンケート①）

■アンケート

Q. 北本駅や市役所周辺に「ない」と困る施設を2つ選び、シールを貼ってください。

行政	市役所	など
商業	スーパーマーケット	など
	ドラッグストア	など
	コンビニエンスストア	など
金融	銀行	など
	信用金庫	など
	郵便局	など
文化・教育	図書館	など
	文化センター	など
	公民館	など
	病院	など
医療	診療所	など
高齢者施設	地域包括支援センター	など
	高齢者福祉施設	など
子育て	子育て支援センター	など
	こども園	など
	保育園	など
学校	小・中学校	など
	高等学校	など
	大学	など

パネル6（アンケート②）

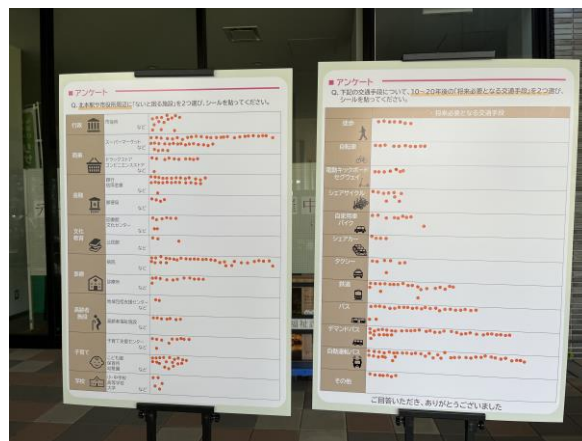
■アンケート

Q. 下記の交通手段について、10～20年後の「将来必要となる交通手段」を2つ選び、シールを貼ってください。

将来必要となる交通手段	
徒歩	
自転車	
電動キックボード	
セグウェイ	
シェアサイクル	
自家用車	
バイク	
シェアカー	
タクシー	
鉄道	
バス	
デマンドバス	
自動運転バス	
その他	

ご回答いただき、ありがとうございました

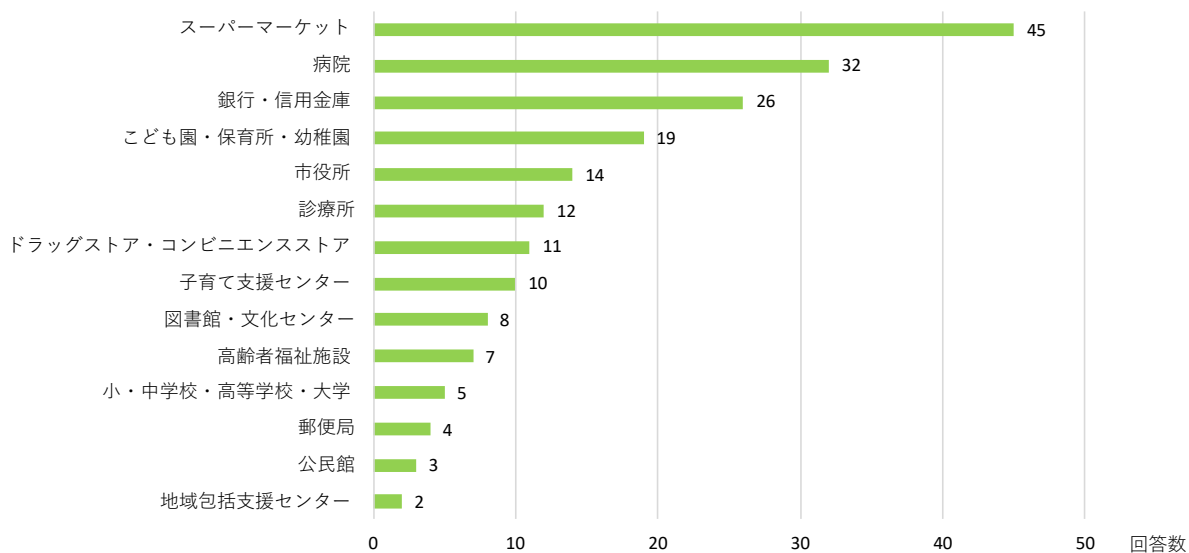
5. 当日の開催のようす



6. アンケート・自由意見結果

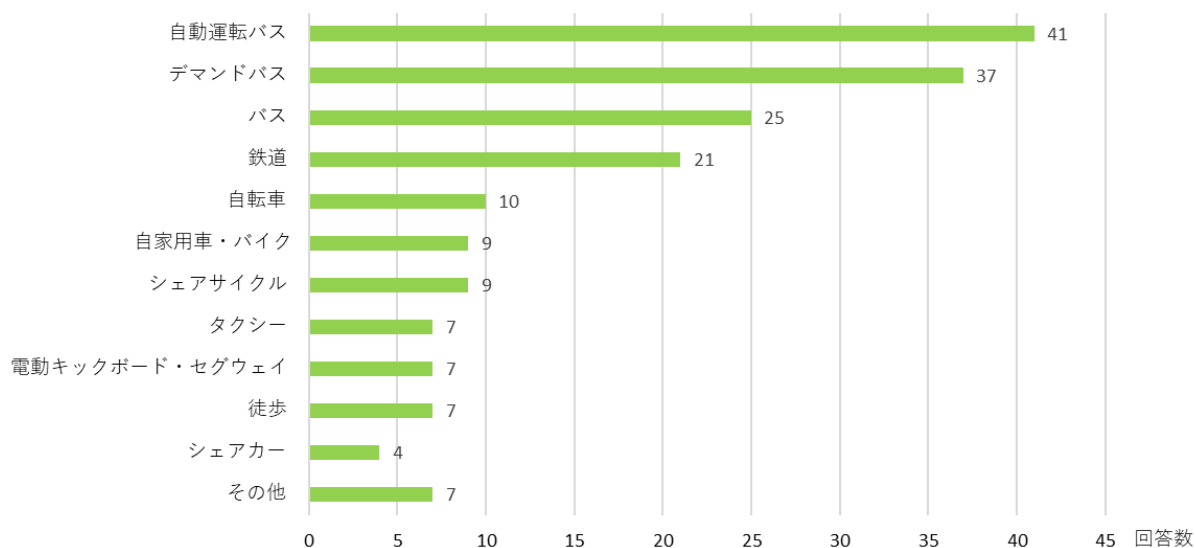
アンケート①：北本駅や市役所周辺に「ないと困る施設」を2つ選択

大分類	小分類	回答数	割合	順位
行政	市役所	14	7.1%	5
商業	スーパーマーケット	45	22.7%	1
	ドラッグストア コンビニエンスストア	11	5.6%	7
金融	銀行 信用金庫	26	13.1%	3
	郵便局	4	2.0%	12
文化教育	図書館 文化センター	8	4.0%	9
	公民館	3	1.5%	13
医療	病院	32	16.2%	2
	診療所	12	6.1%	6
高齢者施設	地域包括支援センター	2	1.0%	14
	高齢者福祉施設	7	3.5%	10
子育て	子育て支援センター	10	5.1%	8
	こども園 保育所 幼稚園	19	9.6%	4
学校	小・中学校 高等学校 大学	5	2.5%	11
合計		198	100.0%	



アンケート②：10～20年後の「将来必要となる交通手段」を2つ選択

分類	回答数	割合	順位
徒歩	7	3.8%	8
自転車	10	5.4%	5
電動キックボード セグウェイ	7	3.8%	8
シェアサイクル	9	4.9%	6
自家用車 バイク	9	4.9%	6
シェアカー	4	2.2%	11
タクシー	7	3.8%	8
鉄道	21	11.4%	4
バス	25	13.6%	3
デマンドバス	37	20.1%	2
自動運転バス	41	22.3%	1
その他	7	3.8%	
合計	184	100.0%	



※「その他」の意見

- ・コミュニティバス
- ・シニアカー
- ・小型モビリティ 等